

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		消火栓維持管理事業			事業コード	1245
担当課等	所属名	上下水道局 水道管路課		担当係名		
	課長名	上下水道局 水道管路課	担当者名	上下水道局 水道管路課	電話番号	697-6275

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	安定給水の確保	コード 1	関連予算 費目名	水道事業会計 1款01項20目 公設消火栓点検業務委託(016-10) 水道事業会計 1款01項20目 公設消火栓点検業務委託(016-11)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和9年度～)					
事務事業の概要	消火栓の機能を確保し、配水管内の水質保持及び消火活動が円滑に実施できるようにするため、計画的に消火栓の点検を実施する。点検により機能低下や折損などの異常が認められたものについては、必要に応じて修繕工事を行い、適切に維持管理する。					
根拠法令等	水道法24条による。					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
・水道法第24条で「水道事業者は、当該水道に公共の消防のための消火栓を設置しなければならない」と定められており、水道事業の開始と同時に消火栓の維持管理事業に着手した。 ・平成5年に発生した火災の際、現場付近に設置していた旧型地上式消火栓が凍結していたため、使用できなかったことから、この改善策として現行型地上式消火栓に更新するとともに委託による点検業務を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
・「地下式消火栓は、冬期の凍結に問題があり地上式消火栓に換えるべきである」と言う一方で「地上式消火栓は、地下式消火栓に換えるべきである」或いは、「公道内に設置している地下式消火栓は、付近の民有地内に移設するべきである」という相反した様々な意見がある。 更には「道路への出入りの都合上、地上式消火栓を移設してほしい」という要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
公共事業費の縮減などにより、消火栓の年度ごとの増加数は鈍化傾向にあるものの、今後も増加していく見通しである。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	公設消火栓	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 公設消火栓基数	単位	基
				B. 公設消火栓点検対象基数	単位	基
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・公設消火栓の点検(公設消火栓点検業務委託) ・公設消火栓の修繕 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・公設消火栓の点検(公設消火栓点検業務委託) ・公設消火栓の修繕	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 修繕基数	単位	基
				B. 点検基数	単位	基
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・公設消火栓の機能を確保を回り、適切に維持管理する必要がある。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 修繕率(修繕基数/公設消火栓基数) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 保守点検率(点検基数/公設消火栓基数) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	安全でおいしい水が安定供給される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%) 残留塩素(単位:mg/l)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	公設消火栓基数	基	3988	4325	4380	4370	4412	4450	26年度 4520
対象 指標B	公設消火栓点検対象基数	基	3988	4325	4380	4370	4412	4450	26年度 4520
対象 指標C									年度
活動 指標A	修繕基数	基	78	60	61	57	61	62	26年度 63
活動 指標B	点検基数	基	3982	4325	4380	4370	4412	4450	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	修繕率(修繕基数/公設消火栓基数)	%	2.0	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	年度
成果 指標B	保守点検率(点検基数/公設消火栓基数)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	4,645	4,869	4,881	4,810	4,925	4,990	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	4,645	4,869	4,881	4,810	4,925	4,990	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	4,645	4,869	4,881	4,810	4,925	4,990	*****
	延べ業務時間数	時間	360	360	360	360	360	360	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,085	6,309	6,321	6,250	6,365	6,430	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 公設消火栓により消火活動が円滑に実施できるほか、配水管の維持管理においても洗管作業に機能し、おいしい水の供給に寄与している。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 消火活動を円滑に実施できるようにするため、公設消火栓の全基数の点検を行い、必要に応じて修繕工事を実施することで機能を確保することは妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 業務委託受注者の技術向上を図るための研修会を開催する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 消火栓については施策の「快適な都市機能」のほかに「安全な暮らし」にも直結しており、点検業務を廃止したことにより火事等の際に被害を拡大させる恐れがあり生命・財産を守るうえで必要不可欠である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当該業務委託を受託している水道サービス公社は消火栓の構造を熟知した職員が水道のメータ検針と併用で行うことにより効率的な業務体制を確立することにより安価に行っているものである。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 消火栓基数が増加し、また点検範囲も玉山区内の前田簡水が編入されたことにより広がっている状況である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること</p> <p>当該業務委託については消火栓操作の特殊性等から水道サービス公社と随意契約を締結している。水道サービス公社の廃止が検討されていることから業務の発注方法について見直しが必要である。</p> <p>① 漏水調査業務委託と消火栓点検業務委託の一括発注について検討する。 ② 市内の点検地域を数か所に区割りし受託業者の点検に係る人員確保を容易にして、数社と競争入札のうえ契約締結し、消火栓に扱いについて講習のうえ点検業務を実施する</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>平成22年度において競争入札を検討し2社から見積もりを徴収したが高価であり委託費の増額が予想される。 漏水調査と一括発注し経費節減に繋がるか検証する</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>消火栓を地下式から地上式に替えるよう以前から要望があった。消防や関係機関と協議を行い、今後も極力地上式を設置する方針を基に設置割合を高めていきたい。</p>
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 </p> <p> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </p>	
		
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>消火栓維持管理事業は、火災や災害時での緊急対応や定期的な水質管理のため日常の点検管理が必要である。地上式消火栓は、冬期間の消防活動には効果的であり、設置費用も幾分安価であることから今後も地上式消火栓を基本として事業推進していく。</p>	